

NEWS RELEASE



新屋島水族館

2020年5月8日
avatarin 株式会社
屋島水族館株式会社

水族館にアバターインしよう

～newmeを通して公式キャラクターの「マナやん」を応援～



ANA グループの avatarin(アバターイン)株式会社（東京都中央区、代表取締役 CEO：深堀 昂、以下「avatarin(株)」）と屋島水族館株式会社（香川県高松市、代表取締役：敷山 哲洋、以下「新屋島水族館」）は、avatarin(株)が独自開発した普及型コミュニケーションアバター「newme（ニューミー）」を活用し、外出自粛の人に向けて自宅から遠隔で新屋島水族館内を觀賞する取り組みを実施します。

◆概要

水族館に設置したアバター「newme」を自宅のパソコンから遠隔で操作し、以下2つのコンテンツを楽しむ事が出来ます。

- ① 公式キャラクター「マナやん」オススの水族館巡回ツアー
- ② 水族館解説員による水族館ツアー

本イベントにご参加いただくには新屋島水族館公認キャラクター「マナやん」の Twitter アカウントをフォローの上、所定のハッシュタグをつけてご応募いただくとともに、avatarin ホームページ (<https://entry.avatarin.com/>) より会員登録が必要です。

◆スケジュール

5月14日(木)

- 14:00～14:30 飼育員による解説
- 15:00～15:30 マナやんと遊ぼう
- 16:00～16:30 飼育員による解説

5月15日(金)

- 14:00～14:30 マナやんと遊ぼう
- 15:00～15:30 飼育員による解説
- 16:00～16:30 マナやんと遊ぼう

avatarin(株)と新屋島水族館は今後も、アバターを通じて直接または遠隔での新しい水族館の觀賞体験を提供していきます。

◆avatarin 株式会社について

avatarin(株)は、「アバターを、すべての人の、新しい能力にすることで、人類のあらゆる可能性を広げていく」というミッションを掲げ、2020年4月1日にANAホールディングス発の初めてのスタートアップとして設立されました。

社会課題解決のために考えた遠隔操作ロボット「アバター」を用いて、意識・技能・存在感を伝送させ、人々が繋がりコミュニケーションおよび作業を行うことができる次世代モビリティおよび人間拡張テクノロジーを開発していきます。そのための遠隔操作ロボティクス技術開発を、2018年よりXPRIZEによる賞金レース「ANA AVATAR XPRIZE」を主催することで加速させています。これら開発され社会に実装した「アバター」を誰でも自由に使うことのできる世界初のアバタープラットフォーム「avatarin」(URL : <https://avatarin.com/>) にWEBサイトやアプリから「avatarin」にアクセスする、すなわち“アバターイン”することで、世界中の人々が社会インフラとしてのアバターを使えるようになります。

<https://www.anahd.co.jp/group/pr/202004/20200401-2.html>

◆アバターとは

avatarin(株)が考えるアバターとは、社会課題解決のために考えた遠隔操作ロボットです。ロボティクス、AI、VR、通信、触覚技術などの先端技術を集結し、遠隔地に置かれたロボットに遠隔操作ロボットを用いて、意識・技能・存在感を伝送させ、人々が繋がりコミュニケーションおよび作業を行うことができる次世代モビリティおよび人間拡張テクノロジーです。

◆avatarin (アバターイン) とは

「avatarin」(URL : <https://avatarin.com/>) とは、ANAHDが開発した社会に実装されたアバターを誰でも自由に使えることのできる世界初アバタープラットフォームです。WEBサイトやアプリから「avatarin」にアクセスする、すなわち“アバターイン”することで、世界中の人々が社会インフラとしてのアバターを使えるようになります。

◆newme (ニューミー) とは

「newme」(URL : <https://avatarin.com/avatar/newme/>) とは、avatarin(株)がこれまで行った実証実験の結果をもとに高画質、首振り機能、折り畳み式、軽量化、カスタムデザインなど、社会への普及に必要な機能を備えたアバターです。自分の分身となる「newme」に存在・意識を伝送することで、物理的な距離を越えたコミュニケーションをはじめとしたあらゆる用途で自分の分身として活用することが可能です。

◆新屋島水族館について

1969年に完成した新屋島水族館は、それまでの小さなガラス窓ではなく、現在様々な水族館でも使われている大きなアクリルパネルが世界で最初に採用された水族館でもあります。古い施設ですが2006年に一部リニューアルし、国内では5頭しか飼育されていないアメリカカナティをはじめ珍しい生き物達が癒しと学びの空間を提供しています。

URL : <http://www.new-yashima-aq.com/newYAQ/home/home.html>

Twitter : @newyashimaaq

以 上

お問い合わせ先

avatarin 株式会社

pr@avatarin.com

屋島水族館株式会社

info-w@new-yashima-aq.com